

見守り 新鮮情報

第95号

事例 1 シニアカーに乗って **下り坂** を走行中に、**急ハンドルを切ったらしく、車体ごと転倒し、死亡**した。

(事故発生：2009年5月、当事者：80歳代 男性)

事例 2 電動カートで走行中、踏切内で **電車にはねられて、死亡**した。

(事故発生：2010年1月、
当事者：60歳代 男性)

事例 3 ハンドル形電動車いすと一緒に **用水路に転落**した状態で発見された。救急隊が到着した時には **死亡**していた。

(事故発生：2010年8月、
当事者：80歳代 女性)



危険! 電動3・4輪車で死亡事故

ひとこと 助言

気をつけてね



見守るくん

- 電動3・4輪車は、高齢者などが戸外で移動する手段として自分で運転する乗り物で、シニアカー、電動カート、ハンドル形電動車いすなどと呼ばれています。利用者の増加に伴い、転落や転倒による死亡・重傷事故が多発しています。
- 道の端に寄り過ぎると、道路外へ転落する恐れがあります。コントロールしにくい下り坂では慎重に運転し、砂利道や滑りやすい場所などでは乗らないようにしましょう。
- 踏切内で立ち往生すると、非常に危険です。線路に対して直角に渡り、脱輪しないよう注意しましょう。バッテリー切れを防ぐため、外出前にバッテリーの残量を確認することも大切です。
- 安全な操作ができるよう、行政や製造・販売業者が行う運転講習を受けるなど、練習を繰り返すことが重要です。新しいものに乗り換える際にも、必ず指導を受けましょう。